

前頭六枚目鬼ヶ嶽の対戦は場所前から好調の鬼ヶ嶽が元大関の貫禄を見せ、強烈な押し倒しで龍不動を寄せつけなかった。



鬼ヶ嶽○(押し倒し) ●龍不動

今場所もいよいよ大詰め。大関大神楽は関脇綱乃花と横綱千代鈴との対戦が予想され、関脇西神門は2敗の剛勇山、鬼ヶ嶽、若佑あたりとの対戦が組まれそう。

何度も繰り返すが、優勝の他にそれぞれ横綱昇進と大関昇進がかかるだけに残り2日間両者ともに連勝したいところ。また、関脇四季嶋は横綱千代鈴、関脇綱乃花との対戦が予想され、大関昇進のためには最低連勝することが必要だろう。

混戦となった優勝争いだが、候補が絞り込まれ、横綱、大関への昇進も絡み、大いに盛り上がりを見せる十日目と千秋楽になりそう。

最後に賜杯を抱くのは誰か？そして、果たして横綱、大関への昇進は如何に！注目の千秋楽は4月13日開催の予定。乞うご期待下さい。(錦風)

### 十両は越境山が一敗でトップ

十両も八、九日目を開催し、七日目まで一敗で並ぶ桃乃洲と越境山は、ともに八日目を白星として迎えた九日目に直接対決が組まれた。

勝った方が単独トップに躍り出る大事な一番。最初の相撲は両者のまわしが付き同体取り直しに。取り直しと差した越境山が寄り切りで制した。



桃乃洲●(寄り切り) ○越境山

越境山は上位勢の星勘定にもよるが、星を伸ばせば幕内の可能性も見えてきそう。桃乃洲は2敗に後退したが返り咲きの可能性は高そう。

他に2敗を守ったのは大石丸。十両2場所目の大石丸は安定した左差しと時折見せる右攻めもあり一やっばり大石丸が本命だろう。一と鹿賀乃戸審判長の評価も揺らがない。その幕内に駆け上がりたところだろう。

3敗勢にもまだ優勝の可能性は残っているが、ほぼこの3人の争いに絞られたといつてよさそう。

勝ち越せば文句なしの昇進となる東筆頭の鹿麒麟は白星を重ねて4勝5敗と踏み止まり残り2日に幕内復帰を目指す。

一方、櫻吹雪は今場所こそは幕内昇進をとう気合を入れて臨んだ場所だったが、またしても上位の厚い壁に阻まれて負け越し。悲願は来場所以降に持ち越されることになった。

十両生き残りをはかる再十両の樺富士と茅ヶ崎。何としても今度こそは残留を果たしたい両者だが、ともに黒星先行となり残り2日勝つしかない状況に追い込まれた。

また、ここまで中々調子が上がらない旅籠錦と鶴ノ里。鶴ノ里は八日目にようやく白星を挙げたものの、とも落が落ち運に恵まれず陥

(勝間田)



鶴ノ里○(押し倒し) ●磯日丸



大石丸○(押し倒し) ●虎ノ國

### 幕下は太刀鳳と千丈岳

幕下は四日目。4連勝とし千秋楽決戦に進出したのは太刀鳳と千丈岳の2力士。

太刀鳳は先場所まで関取をつとめた地位から陥落しどうなるかと思われたが、今場所は心の配を感じさせることなく格の違いを見せている。

四日目は勢いに乗る虹ヶ谷に終始攻め込まれながらも、一瞬の隙を逃さず左差しから寄り切った。

これで4連勝として幕内復帰が見えてきたが、昇進を確実にするためにもう一つ白星を重ねておきたいところ。

かたや千丈岳は今場所何とかが優勝を意気込んでいる。磐若と倒し太刀鳳との決戦に駒を進めた。

先場所も三日目まで3連勝としものの、その後連敗して悔しい結果に終わっただけに、ここは優勝して来場所十両を狙える位置まで番付を上げたい。部屋としても千丈岳が優勝すれば156回の茅ヶ崎以来の優勝となる。

先場所付け出しで活躍を見せた達子波が連続の勝ち越しを目指し、再小生の藤丸と対戦。苦戦が予想されるが、藤丸の左差しの輪は逆転で得意の勝ち越して千曲海も五分の星に返す。千丈岳は勝ち越しを賭ける。(山里)



藤丸●(押し倒し) ○達子波



磐若●(寄り切り) ○千丈岳



虹ヶ谷●(寄り切り) ○太刀鳳

### 三段目、序の口

三段目は松錦と森倉、序二段は栃尾山と如月、序の口は鎧島と唐紅が4連勝を果たした。

三段目では松ヶ神の松錦が強敵伊勢の里を下し、一場所での幕下復帰を確実なものとした。

序二段は栃尾山と如月が4連勝。如月は秋田部屋初優勝を目指す。川力の夢を砕いた。

加古川の鶴ノ里が初優勝を飾り、2勝2敗。千秋楽に部屋初の勝ち越しに期待をかける。序の口は人気の福笑を鎧島が撃破。序二段の栃尾山と併せて2段の相手を不敵に下し、唐紅と対戦見込み。序二段の口は共に錦風対勝間田の構図だ。(鹿賀戸)



川力●(寄り切り) ○如月



綱櫻●(寄り切り) ○森倉



福笑●(寄り切り) ○鎧島



鶴ノ里○(押し倒し) ●栃ノ浪



松錦○(押し倒し) ●伊勢里